

# 安全マニュアル 4（木造和船）

2020年11月1日改訂

東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所（採集室）

## 1. 乗船にあたって

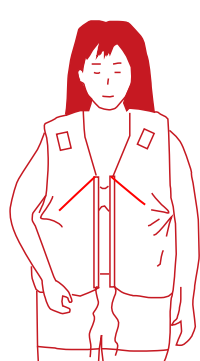
- ・乗車可能人数（みさき：6名）は必ず守っていただきます。
- ・使用時間は平日 9:00～15:00 です。土日祝日は使用できません。

## 2. 気象・海況等の確認

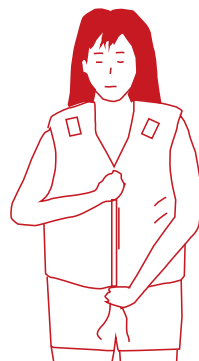
- ・当日の利用にあたり、気象・海況を必ずインターネットなどで情報を入手した上で、実施の可否について必ず採集室に確認してください。
- ・実施の判断がつきにくい状況の場合、採集室からもアドバイスいたしますが、実習の場合は担当教員が最終判断を行ってください。

## 3. 服装

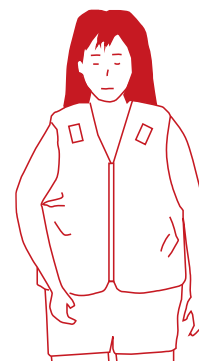
- ・怪我防止のため長袖長ズボンなど肌の露出を少なくし、船上で作業をする場合は軍手などを着用してください。（海況によっては波飛沫で濡れる場合があります。濡れてもよい服装もしくはカッパを着用してください。）
- ・長靴や運動靴などの滑りにくい履物を履いてください（踵の無いサンダルなどの履物での乗船は禁止しています）。
- ・夏季は熱中症対策（帽子、タオル、飲み水、日焼け止め、サングラス等）、冬季は防寒対策をしてください。
- ・ライフジャケットを着用してください（下図参照）。ライフジャケットは、教育棟実習室2にあります。
- ・救命浮環を持って乗船してください。救命浮環は採集作業棟にあります。



① 腕を通して着用し、胸元の紐を結ぶ。左右のバックルでサイズを調節する



② ファスナーを閉じ、すそ締めロープを結ぶ



③ 結んだロープを内側に押し込む

#### 4. 乗船中の注意

- ・航行範囲は、油壺湾内および諸磯湾内（諸磯テトラポットまで）です。
- ・初心者は、熟達者と一緒に乗船してください。
- ・船のへり（縁）に腰掛けしないでください。
- ・船のへり（縁）に手をかけていると岸壁などの間に挟まれる場合がありますので注意してください。
- ・操船者以外は着席し、みだりに立ち上がらないでください。
- ・動力船の引き波によって、船が揺れます。転倒・転落には十分注意してください。
- ・ほかの船に注意して操船してください。
- ・船内は禁煙です。
- ・飲酒しながら、または飲酒後の操船は禁止です。
- ・海にゴミを捨てないでください。
- ・危険な動物に注意してください。万一受傷した場合は、速やかに病院へ行き医師の診察を受けてください。

##### 1)ゴンズイ…[図1]

ナマズの仲間で、背びれと胸びれに強い毒棘があり、刺されると激痛が長時間続く。

##### 2)ハオコゼ…[図2]

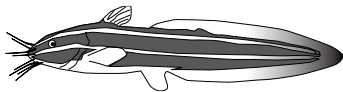
赤い小形魚で、背びれ・腹びれ・尻びれに毒棘が並ぶ。

##### 3)ハチ…[図3]

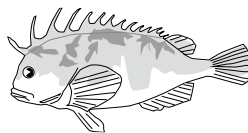
ハオコゼと同様、ひれに注意する。

##### 4)シドロガイ…[図4]

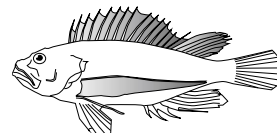
強靱な蓋の外縁にある鋸歯で切り傷を負い、出血する。



[図1] ゴンズイ



[図2]ハオコゼ



[図3]ハチ



[図4]シドロ

- ・風などで流されて戻って来れなくなった場合のために、携帯電話を必ず携帯してください。緊急時には採集室もしくは技術職員の携帯に連絡してください。

★緊急連絡先★

- ・ 臨海実験所事務室 : 046-881-4105
- ・ 採集室 : 046-881-4107
- ・ 東京大学理学部地区防災センター : 03-5841-8299
- ・ 三浦市立病院 : 046-882-2111